



子どもたちへ10万円

国や町の対応に思うことは？

国が、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、子どもたちに1人あたり10万円を給付することを決定しました。

広野町では、所得制限を設けずに一括して現金で給付することに決定しました。

町民の方から、国や町の対応についてご感想を伺いました。



遠藤 千枝子さん
(折木)

一人で子育てしている人などへの支援はとても助かるし、所得制限を無くしたこともよいやり方だとは思いますが、一方で年金生活の高齢者やコロナ禍で大変な状況になってきている人も多く、国民全体に支給してほしい。まじめに税金を納めているのだから、こういう大変な時に、国民を助けるのが国の役目ではないでしょうか。



鈴木 貴幸さん
(折木)

子育てしている方には、やさしい政策だと思うが、10万円を貯蓄に回す人もいる。

使い方は個人の理由があり、全て現金にしたことは評価できるが、むしろ貯蓄に回す人達の、背景にある将来への不安に対して目を向けてほしい。

自らの親の世代は年金しか収入がなく、コロナ禍で生活不安も増えているので、全員に支給を皆さんが求めているのではないか。

編集後記

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられましたことお慶び申し上げます。

私も、手をかけてきた蜂屋柿が柔らかく甘い干柿に仕上がりと、和やかな気持ちで新年を迎えることができました。昨年は、地震や台風などの被害の復旧がほぼ完了したことで、復興の進展を強く感じた年でありました。

今年も、コロナ禍の中での情報通信技術を活用した教育環境の充実、農業従事者の減少や高齢化への対策など課題は山積しています。が、課題解決に向け広い視野で明るい未来を探り、広野町に新たな魅力を創出できるよう議会活動に励んで参ります。

(北郷 伯弘)



甘さが増す干柿

次の定例会は3月です

- 発行・編集責任者 議長 北郷幹夫
 広報委員会 委員長 阿部憲一
 委員長 渡邊正俊
 副委員長 小磯利雄
 委員 畑中 大子
 委員 北郷 伯弘